

# 2022年3月期 決算説明資料

アルファグループ株式会社（証券コード：3322）



# 1. 2022年3月期 決算実績

# 2022年3月期決算実績：決算概要

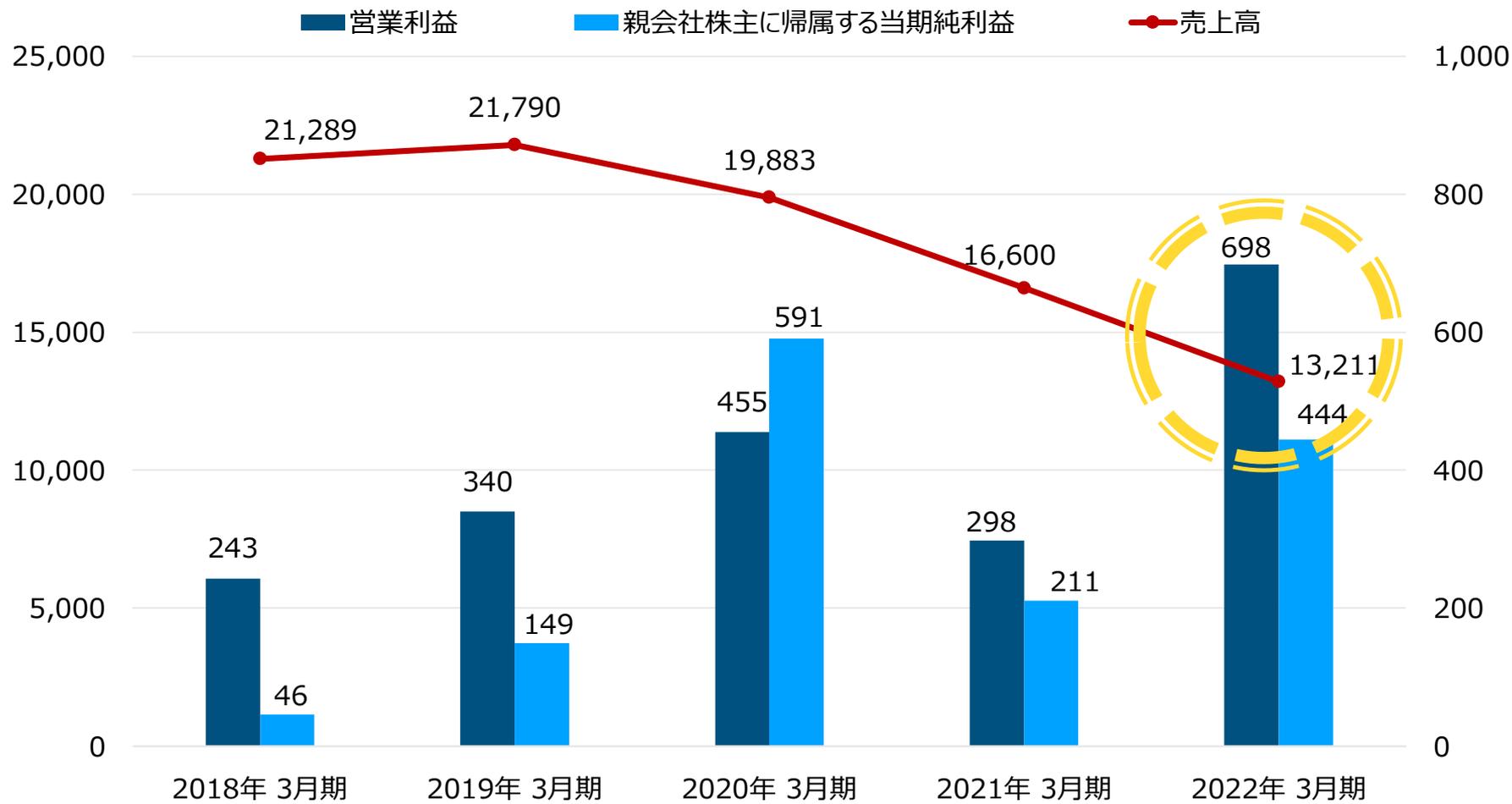
(単位：百万円)

	2021年3月期 通期累計実績	2022年3月期 通期累計実績	対前年 実績増減額
売上高	16,600	13,211	▲3,389
営業利益	298	698	400
経常利益	351	750	399
親会社株主に帰属する 当期純利益	211	444	233

※ 2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用

# 2022年3月期決算実績：業績推移

(単位：百万円)



# 2022年3月期決算実績：セグメント別業績

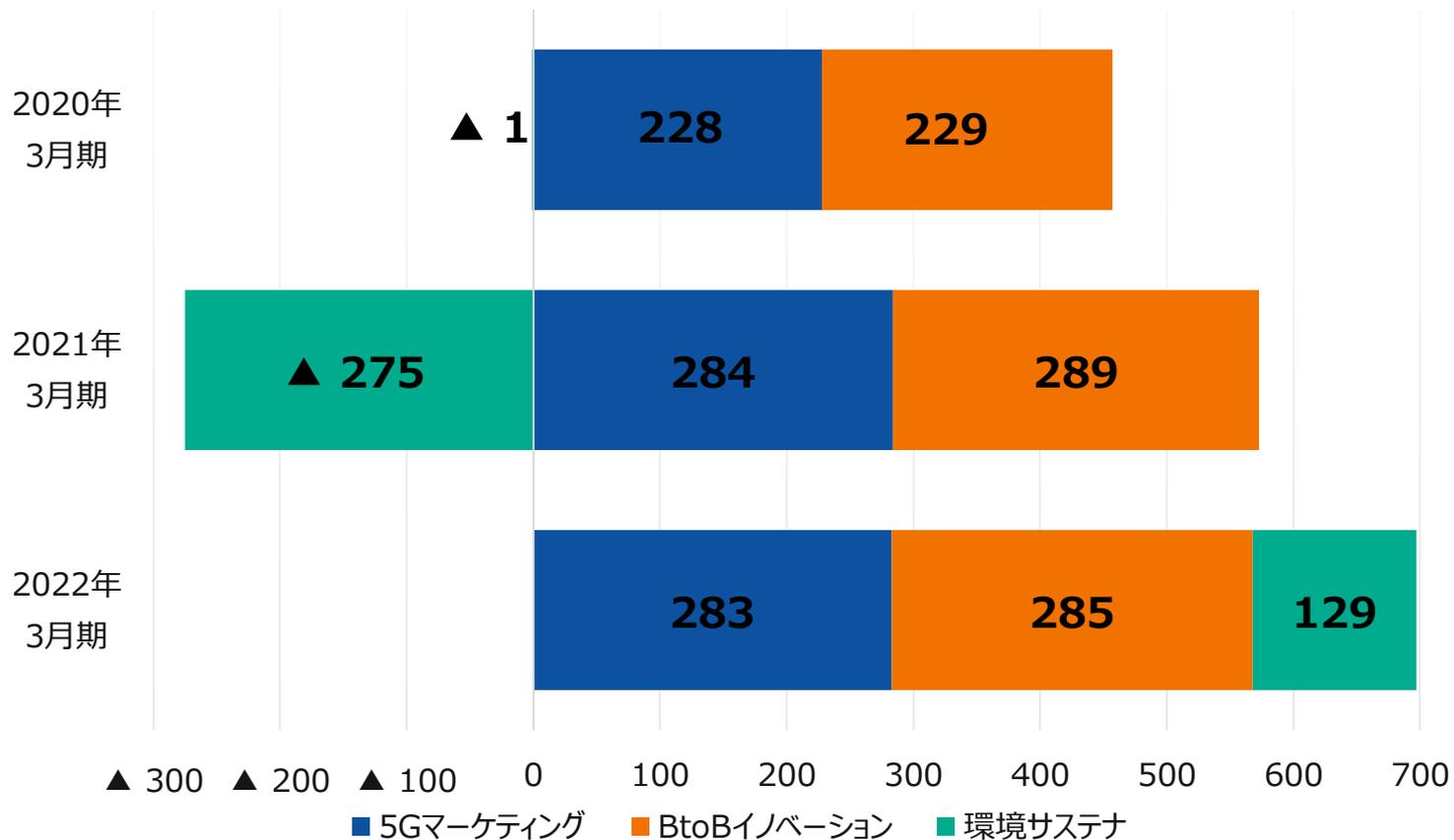
(単位：百万円)

		2022年3月期 通期累計実績	前年実績	増減額	比率
売上高	5Gマーケティング	10,333	9,507	826	8.7%
	BtoBイノベーション	778	5,349	▲4,571	▲85.5%
	環境サステナ	2,108	1,756	352	20.0%
営業損益	5Gマーケティング	283	284	▲1	▲0.4%
	BtoBイノベーション	285	289	▲4	▲1.4%
	環境サステナ	129	▲275	404	

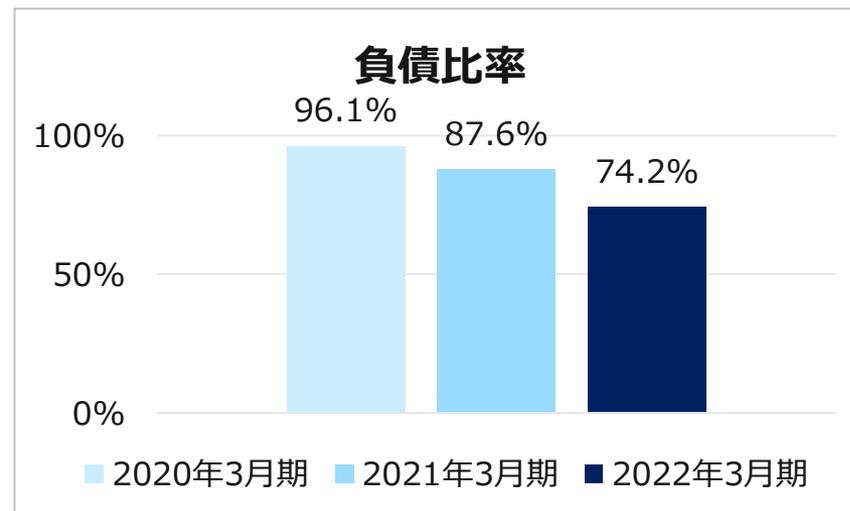
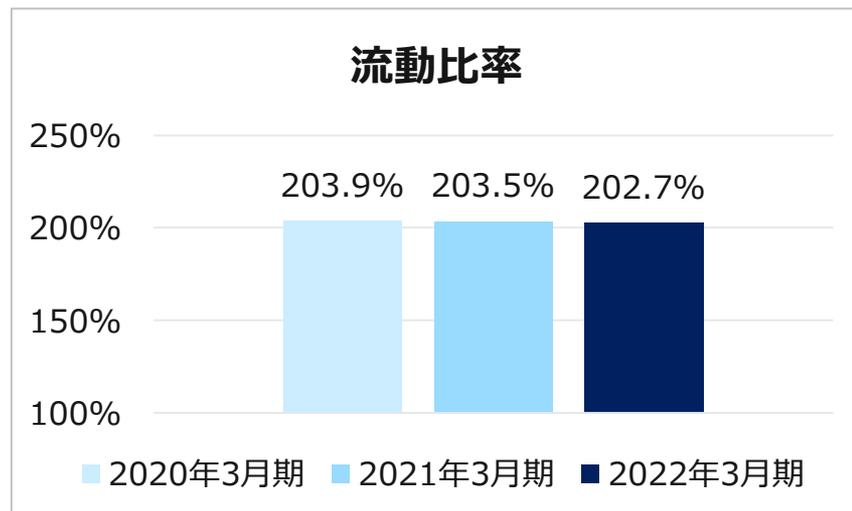
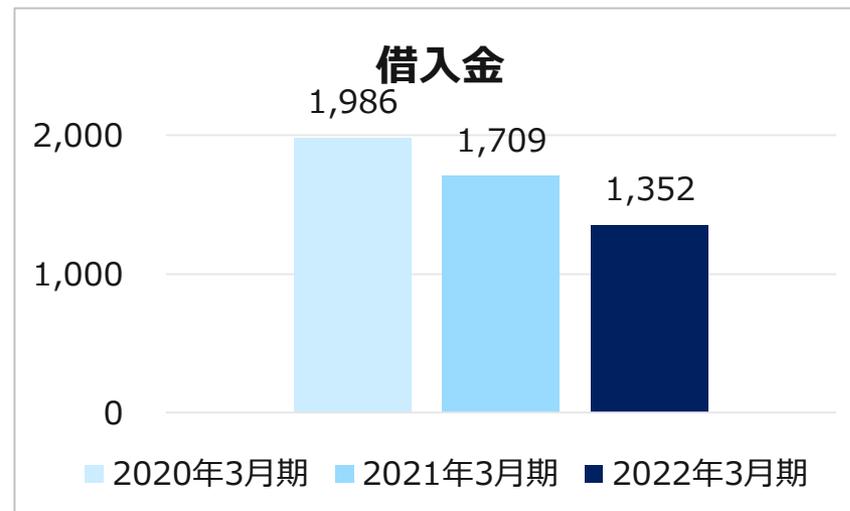
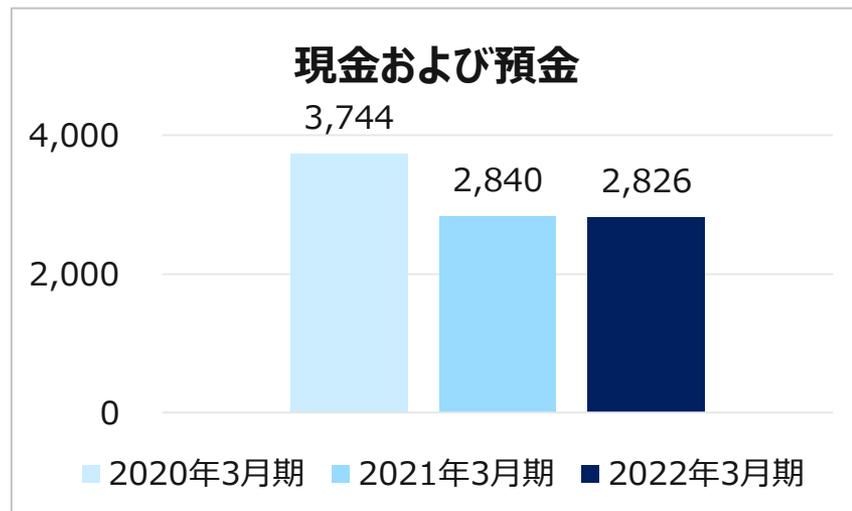
※ 2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用

# 2022年3月期決算実績：セグメント別損益推移

(単位：百万円)



# 2022年3月期決算実績：財務状況



- 5Gマーケティング事業の通信端末販売の代理店展開、B to Bイノベーション事業のオフィス文具通販の代理店展開に関しては、当社の強みである「STOCK」型ビジネスが真価を発揮し、例年水準の利益を確保
- 環境サステナ事業では、LED照明機器の販売・レンタルにおいてこれまで積み上げた「STOCK」収益が通期の新規獲得コストを上回り増益へ寄与
- 長期化する新型コロナウイルス感染症の蔓延に加えて、ウクライナ情勢等も影響する不透明な情勢下で、世界的な原油価格の高騰により電力は逼迫し市場価格も高騰。このため、電力小売やエネルギー利用状況等に関するコンサルティングサービスにおいて営業活動を縮小せざるを得ず、新規顧客獲得コストの発生が抑えられたため、大きく増益

## 2. 通期業績予想

# 通期業績予想：概要

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 通期業績予想	対前年 実績増減額
売上高	13,211	13,500	289
営業利益	698	460	▲238
経常利益	750	465	▲285
親会社株主に帰属する 当期純利益	444	294	▲150

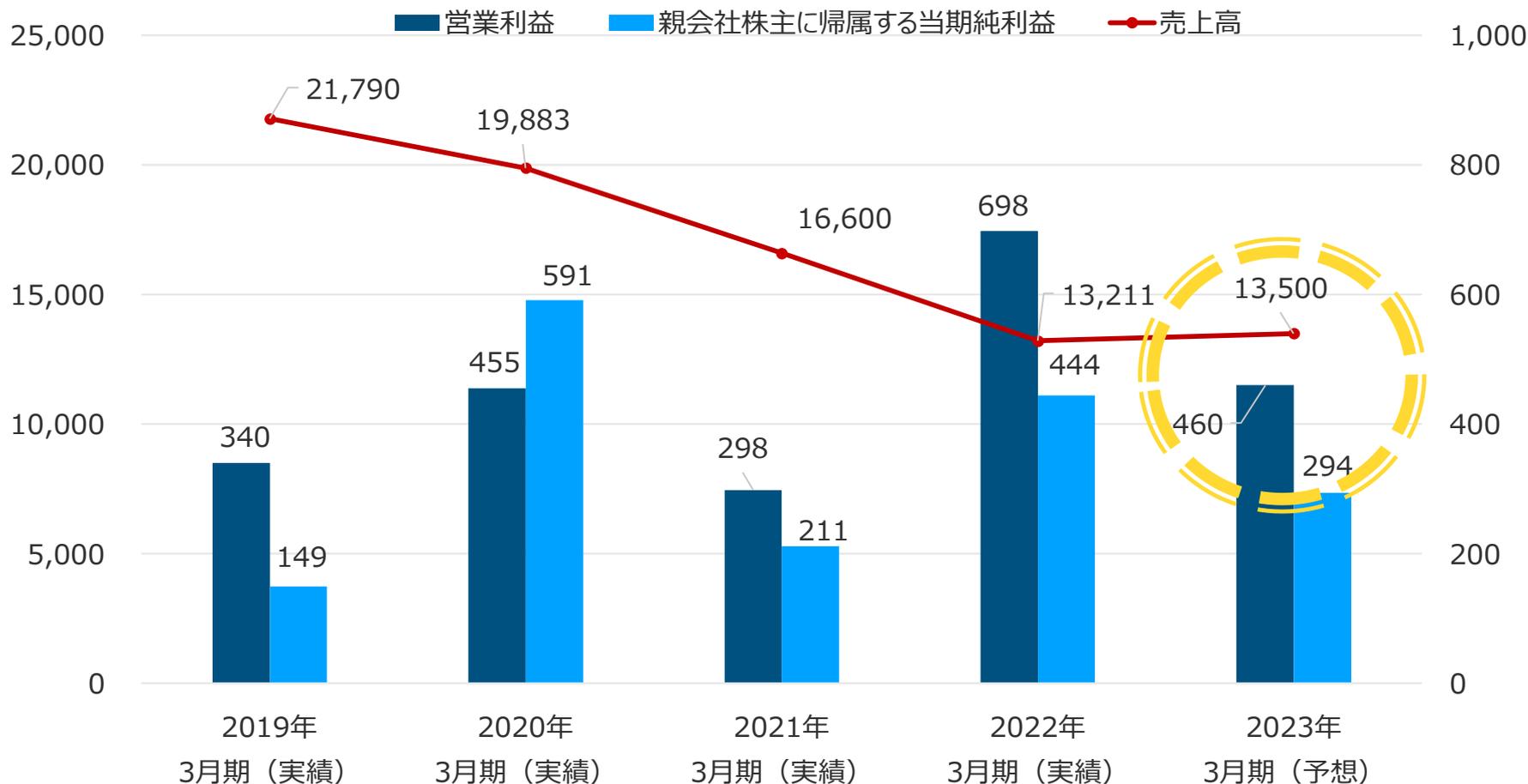
# 通期業績予想：セグメント別予想

(単位：百万円)

		2023年3月期 通期業績予想	前年実績	増減額	比率
売上高	5Gマーケティング	10,269	10,333	▲64	▲0.6%
	BtoBイノベーション	769	778	▲9	▲1.2%
	環境サステナ	2,461	2,108	353	16.7%
営業利益	5Gマーケティング	239	283	▲44	▲15.5%
	BtoBイノベーション	44	285	▲241	▲84.6%
	環境サステナ	176	129	47	36.4%

# 通期業績予想：推移

(単位：百万円)



# 2023年3月期通期業績予想：総括

- 5Gマーケティング事業においては、構築した販売網により前年度と同水準の収益を確保しつつ、収益基盤の強化のため出店活動を継続することにより減益の見込み
- B to Bイノベーション事業においては、従来のオフィス文具通販の代理店展開により前年度と同水準の収益を確保する一方で、医療法人向けのコンサルティングサービスなど新規取り組みの開始により先行投資費用の発生が想定されるため、大きく減益の見込み
- 環境サステナ事業においては、主力のLED照明機器の販売・レンタルをはじめ、各種の「STOCK」型商材により、第三の柱となる安定した収益基盤が確立され、事業拡大の投資を継続しつつも増収増益の見込み

# 3. その他の取り組み



国連により設定されたSDGs（持続可能な開発目標）を受け、アルファグループならではのSDGs、“A SDGs”（持続可能なアルファの事業目標）をスタート。

「社会の変化のスピードが上がり続ける中、アルファグループが先頭に立ってより良い変化の形をつくっていきたい」という思いを込めて“A SDGs”と命名。

具体的には「健康・長寿の達成」「成長市場の創出・科学技術イノベーション」「インフラ整備」「省・再生可能エネルギー」「あらゆる人が活躍する社会」の5つをテーマとして掲げる。

# その他の取り組み：A SDGs②

健康・長寿の達成

成長市場の創出・科学技術イノベーション

インフラ整備

省・再生可能エネルギー

あらゆる人が活躍する社会

“A SDGs”



# 本資料について

---

本資料に記載されている当社の計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料作成時において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものです。

しかしながら、現実には通常予測し得ないような特別事情の発生または結果の発生等により、本資料記載の計画とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報の積極的な開示に努めて参りますが、本資料の計画のみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先： 経営企画IR担当 03-5469-7302